

全国選手権3位 喜びと感謝

サッカー「アヴェニードソル」

伊賀市長に報告



3位入賞に笑顔の（左から）藪中選手、中田選手、西沢選手＝伊賀市役所で

伊賀市の社会人サッカーチーム「FCアヴェニードソル」が、十月に茨城県で行われた全国クラブチームサッカー選手権大会で三位に入賞した。県、東海予選を制した勢いに乗り、初出場ながら好成績を収めた。十九日には主要選手二人が市役所を訪れ、岡本栄市長に喜びを報告した。

チームは現在、県社会人リーグ二部に所属。十、三十代の十八人からなり、同市野村の競技場で週二、三回の夜間練習を重ねる。三人は主将の藪中海斗選手（二四）DF、中田一輝選手（二七）同、西沢利樹選手（二五）FWで、いずれも伊賀白鳳高サッカー部出身。普段は市内の物流会社でドライバーをしている。

十三チームがトーナメントで争った大会では攻撃的

な持ち味を発揮し、準決勝まで勝ち上がった。中でも一回戦は初戦の硬さがある中、前半開始早々に西沢選手が得点。ゴール前の混戦からこぼれ球をループシュートで決めて逃げ切った。

藪中選手らは「支えてくれている方への感謝を全国のピッチでも表現することができた。このまま、最短期での東海社会人リーグ参入を目指したい」と話した。

岡本市長は、チームを運営するNPO法人「スポーツクラブどんぐり」が小中学生を指導してきた活動にも触れ「小さな子どもたちを育ててきた結果が出てきたと思う。これを機に、より頑張っていたきたい」と激励した。（河野晴気）